

政策シート 政策名 02 子どもが健やかに育つ環境づくり

予算費目名 01 次世代育成費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 02 子育て・教育

理想の姿 (30年後)	◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを 持ち、世界を舞台に活躍している。
政策の柱 (10年後)	◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる 環境が整っている。 ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に 付けている。

基本政策 01 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てがしやすく、子どもが健やかに育つ環境を整える。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,672	5,646	5,060			
決算	1,320	5,118				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	50,880	51,960	53,080			
年間経費(予算又は決算+A+B)	52,200	57,078	58,140			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
特定教育・保育施設等への指導・監査訪問率 (%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	83.1				
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てがしやすく、子どもが健やかに育つ環境を整える。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<政策の進捗> 家庭教育講座の実施等によって家庭教育の大切さを認識させるとともに、子育てに対する不安感や負担感の軽減に寄与できた。また、特定教育・保育施設等251施設・事業所に対する指導監査を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部施設には実施できなかった。	
<課題> 指導監査の実施により、特定教育・保育施設等に対し改善を求めている事項については、改善報告を義務付けており、改善の実施について確認を行うとともに、引き続き適正な運営を指導していく。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	家庭教育推進事業	—	—	—		6,398	3,938	0.3	0.1		
2	次世代育成運営経費	—	—	—		51,742	1,122	5.7	0.8		2.8
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						58,140	5,060	6.0	0.9		2.8

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 家庭教育推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家族の絆や家庭の役割、親子のふれあいについて考えることを通して、家庭教育の重要性についての市民の理解と関心を高め、家庭教育を見直す機会を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S57	-	一般会計	自治事務(その他)	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	保育園・市立幼稚園で、子育て世帯に対して家庭教育講座を実施している点。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	507	4,465	3,938			
	決算	490	4,448				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	490	4,448	3,938			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,320	2,540	2,460			
人工	正規	0.2	0.1	0.3			
	再任用(h31)	0.5	0.2	0.1			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4				
年間経費(予算又は決算+A+B)		4,810	6,988	6,398			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
家庭教育講座実施箇所数(箇所)		-	目標	17	19	20	20	20	20
			実績	17	19				
家庭教育講座参加者数(人)		-	目標	595	665	700	700	700	700
			実績	492	395				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 01 政策 02 予算費目 01 所属コード 000110100 事業 01 (担当課) 次世代育成課 (責任者) 野田 志保 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【家庭教育講座】

- ・保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座
- ・家庭教育に関する教材用の動画作成



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・保育園・市立幼稚園等19か所で家庭教育講座を実施した。
- ・講座開催の需要は増加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせる園があった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期の変更や受講人数を制限。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

委託化により、各施設への希望調査や日程調整などの職員負担が軽減できたことで、効率的な事業実施が可能となった。また、受託事業者の斬新な発想による講座内容の充実が図れた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座の実施を継続する。
- ・新しい生活様式に沿って、オンライン講座など開催方法を見直すと同時に内容の充実も併せて検討する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【家庭教育講座】

- ・保育園・市立幼稚園等での家庭教育講座
- ・家庭教育に関する教材用の動画配信

事業シート (事業名) 02 次世代育成運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

特定教育・保育施設等を対象に、指導・監査業務を行う。また、次世代育成課における児童福祉一般事務を実施することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
-	-	一般会計	自治事務(その他)	児童福祉法、子ども・子育て支援法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの関連性	全ての入所児童にとっての安心安全な幼児教育・保育施設が維持できるよう、施設に対し法令に基づく指導監査を実施している点								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,165	1,181	1,122			
	決算	830	670				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	830	670	1,122			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		46,560	49,420	50,620			
人工	正規	5.0	5.1	5.7			
	再任用(h31)	2.2	2.8	0.8			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.3	1.3	2.8			
年間経費(予算又は決算+A+B)		47,390	50,090	51,742			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
特定教育・保育施設等への指導・監査訪問率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	83.1				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 01 政策 02 予算費目 01 所属コード 001101000 事業 02 (担当課) 次世代育成課 (責任者) 野田 志保 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 【部内及び他部局との総合調整】
 - ・部の予算、決算等のとりまとめ
 - ・社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催
- 【次世代育成課の一般事務】
- 【指導・監査業務】
 - ・特定教育・保育施設等の指導・監査業務



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 遅れている

- ・子ども家庭部内及び他部局との総合調整や次世代育成課の一般事務について、滞りなく実施した。又、社会福祉審議会児童福祉専門分科会を2回開催し、協議や意見聴取をすることができた。
- ・特定教育・保育施設等251施設・事業所に対して、立ち入り指導監査を実施した。また、施設・事業関係者に対する集団指導(全体説明会)を年1回開催した。

※立ち入り指導監査の予定数は302施設であったが、緊急事態宣言により一部施設の実施を見送り。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中の立ち入り指導監査を一時休止。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・関係法令や国通知等に基づき、特定教育・保育施設等に対して、立ち入りによる指導監査を実施した。
- ・特定教育・保育施設等の立ち入り指導監査の対象施設数は年々増えているが、法令に基づき、全ての施設・事業所に対し年1回以上の立ち入り指導監査を実施した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 その他 / 事業費 現状 人工 現状

特定教育・保育施設等の立ち入り指導監査の対象施設数は年々増えているが、法令どおり、全ての施設・事業所に対し年1回以上の立ち入り指導監査を実施することを原則とする。ただし、人員等の状況に応じて、立ち入りの頻度を調整する等、より円滑な実施方法について検討する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 【部内及び他部局との総合調整】
 - ・部の予算、決算等のとりまとめ
 - ・社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催
- 【次世代育成課の一般事務】
- 【指導・監査業務】
 - ・特定教育・保育施設等への指導・監査業務

政策シート 政策名 02 子どもが健やかに育つ環境づくり

予算費目名 02 子育て支援費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 02 子育て・教育

理想の姿 (30年後)	◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを 持ち、世界を舞台に活躍している。
政策の柱 (10年後)	◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる 環境が整っている。 ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に 付けている。

基本政策 01 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

少子化や核家族化が進む中、親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを促進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

①貧困	③保健	④教育							
-----	-----	-----	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	485,823	510,505	570,367			
決算	477,980	481,925				
人件費(報酬等)(A)	203	194	300			
人件費(人工分)(B)	58,060	53,160	58,200			
年間経費(予算又は決算+A+B)	536,243	535,279	628,867			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
子育て支援ひろばの設置数(箇所)	箇所	目標	25	25	25	25	25	25
		実績	25	25				
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)	%	目標	50	50	51	52	53	54
		実績	49.8	47.0				
多世代交流している子育て支援ひろばの設置割合(%)	%	目標	80	80	90	90	90	100
		実績	80	80				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

少子化や核家族化が進む中、親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを促進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
市内25か所の子育て支援ひろばで、妊婦や子育て中の親の不安感や負担感を軽減するため、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行った。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	子育て家庭支援事業	○	○	○		394,936	367,816	2.6	1.0		1.9	
2	発達相談支援事業	○	—	○		162,158	144,358	2.5				300
3	子育て支援運営経費（一般諸経費のみ）	—	—	—		2,582	2,302				0.1	
4	子供の未来応援地域ネットワーク支援事業	○	—	○		63,089	51,889	1.6				
5	子育てワンストップサービス運用事業	○	—	○		2,984	1,584	0.2				
6	(新規) 子育て支援デジタル運営経費	—	—	—		3,118	2,418	0.1				
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						628,867	570,367	7.0	1.0		2.0	300

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 子育て家庭支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

子育てに対する親の不安軽減や子どもの健やかな育ちを支援するために、児童とその保護者、妊婦に情報提供や支援を行う場を提供し、地域全体で子育て支援を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H6		一般会計	自治事務(法令義務)、自治事務(その他)	児童福祉法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	II-1(3)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	65						

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	・子育て支援ひろばについては、児童とその保護者、妊婦のために情報提供や支援を行う場を提供することで、質の高い乳幼児の発達・ケアを提供する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	300,560	296,270	367,816			
	決算	294,091	284,374				
	国・県支出	179,576	179,993	187,235			
	市債						
	その他	42,909	59,769	35,706			
	一般財源 一般会計繰入金	71,606	44,612	144,875			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		29,080	26,980	27,120			
人工	正規	3.2	2.9	2.6			
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.1	1.1	1.9			
年間経費(予算又は決算+A+B)		323,171	311,354	394,936			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
子育て支援ひろばの設置数(箇所)		-	目標	25	25	25	25	25	25
			実績	25	25				
地域子育て支援拠点延べ利用者数(人/件)	II-1(3) イ	-	目標	383000	369500	369500	369500	369500	369500
			実績	303379	111746				
多世代交流している子育て支援ひろばの設置割合(%)		65	目標	80	80	90	90	90	100
			実績	80	80				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	02	01	02	02	001103000	01	子育て支援課	小山 東男	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・地域子育て支援拠点事業
子育て支援ひろば25箇所、児童館4箇所
- ・子育て情報センター管理運営事業
浜松市子育て情報センターの管理運営、ファミリーサポートセンターの運営、父親と母親を対象とした子育て教室の開催
- ・子育て情報発信事業
子育て情報サイト「びっぴ」の運営
- ・地域子育て推進事業
中山間地域親子ひろば事業(水窪・龍山・佐久間・春野)、地域つどいのひろば事業
- ・児童遊園等整備支援事業
- ・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題**
 指標の達成度
 子育てに対する親の不安軽減や子どもの健やかな育ちを支援するために、児童とその保護者、妊婦に情報提供や支援を行う場を提供し、地域全体で子育て支援を推進した。
 <令和2年度>
 ・地域子育て拠点事業利用者数111,746人
 ・子育て情報サイト「びっぴ」訪問者数2,894,026人(6,841,524ページビュー)
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)**



6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)**
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 民間委託による子育て支援ひろば事業の効果を検証し、平成30年度から25箇所の子育て支援ひろばを開設した。子育て支援ひろばの基本内容に加え、地域の実情や利用者のニーズなどに応じて、様々な加算事業を実施することにより、きめ細やかな支援を行うことができた。
- (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)**
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・子育て支援拠点事業については、地域の実情に応じて支援内容を検討していく。
 ・妊娠・出産・子育てに係る妊産婦等の不安や負担軽減を目的に、はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)を実施し、継続して妊娠期から子育て支援期にわたる切れ目ない支援を行うことで、子育て家庭に対するきめ細やかな支援を実施していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- [R1-R4重点戦略項目№65]**
- ・地域子育て支援拠点事業
子育て支援ひろば25箇所、児童館4箇所
 - ・子育て情報センター管理運営事業
浜松市子育て情報センターの管理運営、ファミリーサポートセンターの運営、父親と母親を対象とした子育て教室の開催
 - ・子育て情報発信事業
子育て情報サイト「びっぴ」の運営
 - ・地域子育て推進事業
中山間地域親子ひろば事業(水窪・龍山・佐久間・春野)、地域つどいのひろば事業
 - ・児童遊園等整備支援事業
 - ・はますくヘルパー利用事業(産前・産後ヘルパー利用事業)

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	02	01	02	02	001103000	02	子育て支援課	小山 東男	R3.7.1

事業シート (事業名) 02 発達相談支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

乳幼児期から就学、成人期に至るまでの発達障がい相談支援体制を整備し、自立した社会生活が送れるようにする。また、発達障がいの疑いのある子どもとその保護者が、早期療育を経験する中で、子どもにとって適切な働きかけができるよう支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H20		一般会計	自治事務(法令義務)	発達障害者支援法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	II-1(3)ウ						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進させる。 ・家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画及び保健サービスをすべての人々が利用できる 								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	152,303	154,231	144,358			
	決算	151,037	151,406				
	国・県支出	28,000	24,672	35,103			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	123,037	126,734	109,255			
人工	人件費(報酬等)(A)	203	194	300			
	人件費(人工分)(B)	19,880	17,080	17,500			
	正規	2.6	2.2	2.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.6	0.6				
年間経費(予算又は決算+A+B)		171,120	168,680	162,158			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
発達支援広場会場数(会場)		-	目標	10	10	11	11	11	11
			実績	10	10				
		-	目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 01 02 02 001103000 02 子育て支援課 小山 東男 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・発達障害者支援センター運営事業
浜松市発達相談支援センター「ルピロ」の運営
- ・発達障害者支援人材育成事業
保育園・幼稚園等に通う発達障がい(疑い)のある子どもを適切な支援に結びつけるために園職員を育成
- ・発達支援広場事業
発達支援広場10会場の運営
- ・発達障害者支援体制整備事業
発達障害児者の支援体制の整備、子育てサポートファイルの作成
- ・かかりつけ医発達障害対応力向上研修として、講師による講義を動画にて公開



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・ルピロでは、乳幼児期から成人期に至るまで、ライフステージに応じた相談援助を行っており、発達障がいに関する相談対応件数は、昨年度よりも増加している。また、必要に応じ関係機関と調整を行い、適切な支援に結びつけている。 <令和2年度>相談件数(延4,538件)
- ・発達支援広場では、発達障がいの疑いのある子どもとその保護者に対し、早期療育的なアプローチを経験させることで、適切な親子の関わり方を習得させることができた。また、継続的な療育が必要な子どもは、児童発達支援事業等に結び付けることができた。しかし、1.6か月健診事後、必要な時期に参加ができていない状況がある。 <令和2年度> 参加人数 (延5,147人)
- ・育児支援サイト「はますくQ&A」を展開し、子育ての悩みや不安を緩和を促進した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・発達支援広場の待機状況について現状等把握し、令和3年度に1会場増設の検討をした。
- ・子育てサポートファイルについては、子育て支援ひろば、母親学級、発達支援広場、健診等で活用できるように促しているが、まだ活用が十分ではない状況。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・就労支援等を含めた発達障害者に対する切れ目ない支援の実施をすること、相談件数及び需要が年々増加するなか相談待機時間の短縮を図り、必要な人に支援が届くよう、ルピロの体制を整備する。
- ・発達支援広場に参加すべき発達障がいの疑いのある子どもが、適切な時期に対応できるように改善する。
- ・子育てサポートファイルをより活用できるための検討やそれにおける利用方法を周知する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・発達障害者支援センター運営事業
浜松市発達相談支援センター「ルピロ」の運営
- ・発達障害者支援人材育成事業
保育園・幼稚園等に通う発達障がい(疑い)のある子どもを適切な支援に結びつけるために園職員を育成
- ・発達支援広場事業
発達支援広場11会場の運営(R3年度1か所増)
- ・発達障害者支援体制整備事業
発達障害児者の支援体制の整備、子育てサポートファイルの作成
- ・かかりつけ医発達障害対応力向上研修の実施

事業シート (事業名) 03 子育て支援運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援課の一般事務経費 事務室(ザザシティ浜松中央館5階)清掃・警備・駐車場等経費
--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	961	1,676	2,302			
	決算	879	1,391				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	879	1,391	2,302			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	280			
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,579	2,091	2,582			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 01 02 02 001103000 03 子育て支援課 小山 東男 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

事業シート (事業名) 04 子供の未来応援地域ネットワーク支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

貧困等による親の子育てに対する不安感や負担感を軽減するため、行政や支援団体が連携して支援を行うためのネットワークを構築するとともに、経済的困難を抱える家庭の児童に対し学習支援を実施することで、学習や進学に対する意欲を高める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H29		一般会計	自治事務(その他)	子どもの貧困対策の推進に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	II-1(3)ウ						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①貧困		④教育							
事業とゴールの関連性		あらゆる貧困状態にある全ての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させ、全ての子どもが男女の区別なく初等教育を受ける準備が整うようにする ひとり親家庭や生活困窮世帯など経済的困難を抱える家庭の児童に対し、義務教育期からの学習支援を実施することにより、貧困の連鎖を断ち切る ことと、質の高い高等教育へ平等にアクセスできるようにする。 ・貧困対策コーディネーター事業により支援団体や企業を結びつけ、貧困層への十分な保護を達成する。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	30,429	57,129	51,889			
	決算	30,403	43,698				
	国・県支出	12,887	27,473	25,324			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	17,516	16,225	26,565			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,700	7,700	11,200			
人工	正規	1.1	1.1	1.6			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		38,103	51,398	63,089			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
学習支援事業の実施箇所	II-1(3) ウ	-	目標	17	21	21	24	27	31
			実績	17	21				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
02 01 02 02 001103000 04 子育て支援課 小山 東男 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・子供の貧困対策コーディネーター事業
貧困状態にある子どもや家庭に対する支援を行うための行政や支援団体の関係構築を目的とするコーディネーターの設置
- ・学習支援事業
ひとり親家庭や生活保護受給世帯の児童を対象とした学習支援事業の実施
- ・子どもの生活実態調査事業(令和2年度新規事業)
「子どもの未来サポートプロジェクト」の見直しをするに当たり、本市の子どもの貧困に関する実態調査を実施



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・こどもの貧困対策コーディネーターが連絡会議・研修会の開催や学習支援事業の調整・運営・周知等を実施。
- ・ひとり親家庭や生活保護受給者世帯など経済的に困窮する世帯の児童を対象とした学習支援事業を実施。
<令和2年度> 21会場で実施(定員555人)
- ・市内の小学5年生、中学2年生の子どもとその保護者計6,000世帯を対象に、子どもの生活実態調査を実施。
(有効回収数:3,071世帯、有効回収率:51.18%)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・学習支援について、令和2年度4会場増やし、21会場定員555人に拡充した。
- ・地域の支援団体等の社会資源の把握をし、行政や支援団体の関係者間のネットワークの構築を図った。
- ・ひとり親家庭や生活保護世帯など経済的困難を抱える家庭等の子どもに対し、義務教育期からの学習支援を実施した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ひとり親家庭や生活保護世帯など経済的困難を抱える家庭等の子どもに対し、地域のなかで必要な支援が行き届くよう、学習支援の実施場所を増やし、体制を整備していく。
- ・支援団体の育成、活性化等、地域の支援団体の発掘や育成を行う。
- ・新たな「子供の貧困対策に関する大綱」に基づき、「子どもの未来サポートプロジェクト」を改定する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・子供の貧困対策コーディネーター事業
貧困状態にある子どもや家庭に対する支援を行うための行政や支援団体の関係構築を目的とするコーディネーターの設置
- ・学習支援事業
ひとり親家庭や生活保護受給世帯の児童を対象とした学習支援事業の実施(実施箇所:21箇所)
- ・「子どもの未来サポートプロジェクト」を改訂し、子どもの貧困対策計画として改定

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	02	01	02	02	001103000	05	子育て支援課	小山 東男	R3.7.1

事業シート (事業名) 05 子育てワンストップサービス運用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

子育て関連の申請手続き等について、オンラインで手続きを行うことができる電子申請のサービスの実施に要する経費
 子育てワンストップサービスによる「児童手当」「保育」分野の電子申請のため、市がLGWAN-ASP回線の利用契約を行うことにより、子育て世帯の負担軽減を達成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H29		一般会計	法定受託事務	児童手当法、子ども・子育て支援法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	II-1(3)ウ						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

① 貧困									
事業とゴールの関連性	貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が基礎的サービスへのアクセスが可能となる 最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策 あらゆる次元の貧困状態にある全ての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,570	1,199	1,584			
	決算	1,570	1,056				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,570	1,056	1,584			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	1,400			
人工	正規	0.1	0.1	0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,270	1,756	2,984			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)	II-1(3)ウ	-	目標	50	50	51	52	53	54
			実績	49.8	47.0				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 01 政策 02 予算費目 02 所属コード 001103000 事業 05 (担当課) 子育て支援課 (責任者) 小山 東男 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

「児童手当」「保育」分野において、オンラインで手続きを行うことができる電子申請等のサービスを実施。

(対象事務手続き)

・「児童手当」

児童手当の受給資格及び額についての認定の請求、児童手当の額の改定の請求及び届出、受給事由消滅の届出、未支払の児童手当の請求、児童手当に係る寄付の申し出/寄付変更等の申し出、児童手当の現況届(計6種類)

・「保育」

支給認定申請書、保育施設等利用申込書(計2種類)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

<2年度> 児童手当電子申請1,128件(元年度403件の2.8倍増)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 業務改善 / 業務改善 事業費 現状 人工 現状

・児童手当について1,128件の申請があった。

・児童手当現況届の送付用封筒に電子申請を勧奨する文章を新たに追加することにより、電子申請の周知を図った。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 業務改善 / 業務改善 事業費 現状 人工 現状

子育て世帯の負担軽減のため、引き続き、電子申請等のサービスを実施するとともに、電子申請の利用について周知を図っていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

「児童手当」「保育」分野において、オンラインで手続きを行うことができる電子申請等のサービスを実施する。

(対象事務手続き)

・「児童手当」

児童手当の受給資格及び額についての認定の請求、児童手当の額の改定の請求及び届出、受給事由消滅の届出、未支払の児童手当の請求、児童手当に係る寄付の申し出/寄付変更等の申し出、児童手当の現況届(計6種類)

・「保育」

支給認定申請書、保育施設等利用申込書(計2種類)

事業シート (事業名) 06 (新規)子育て支援デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

子育て支援費にかかるデジタル関連事業に要する経費
 ・はますくQ&Aサイトの更新業務

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H28		一般会計	自治事務(法令義務)	発達障害者支援法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	・はますくQ&Aサイトにより、出産直後の産婦の不安に対し、情報を提供することにより、保健サービスを楽しむことができるようにする。
------------	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			2,418			
	決算						
	国・県支出			1,171			
	市債						
	その他			1,247			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			700			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				3,118			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
はますくQ&Aサイトの設問数			目標			290	320	350	380
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 01 政策 02 予算費目 02 所属コード 001103000 事業 06 (担当課) 子育て支援課 (責任者) 小山 東男 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・はますくQ&Aサイト運用



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 情報発信 / 事業費 現状 人工 現状

・「はますくQ&A」の定期的な更新をし、サイトの周知と活用促進を図ることで、子育て中の不安の軽減につなげることを目指す。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・はますくQ&Aサイトの運用

政策シート

政策名 **02 子どもが健やかに育つ環境づくり**
 予算費目名 **03 家庭福祉費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **02 子育て・教育**

理想の姿 (30年後)	◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを 持ち、世界を舞台に活躍している。
政策の柱 (10年後)	◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる 環境が整っている。 ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に 付けている。

基本政策 **01 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり**

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

安心と喜びをもって子育てができる社会の実現を目指し、子育て支援策を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

①貧困	③保健	⑩不平等	⑫生産・消費						
-----	-----	------	--------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	15,978,731	16,877,777	15,689,199			
決算	15,773,868	16,330,115				
人件費(報酬等)(A)		3,809	3,918			
人件費(人工分)(B)	50,540	51,240	33,600			
年間経費(予算又は決算+A+B)	15,824,408	16,385,164	15,726,717			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合	%	目標	50	50	51	52	53	54
		実績	49.8	47.0				
高校生世代への医療費助成の実施	—	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

安心と喜びをもって子育てができる社会の実現を目指し、子育て支援策を推進する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<p>【乳幼児医療費助成事業、小・中・高校生世代医療費助成事業】 医療費助成に係る支払事務、その他事務の総括を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。</p> <p>【児童手当支給事業】 手当に係る新規認定及び受給継続者への案内、支払事務、その他の事務の総括を行い、子育て家庭を支援した。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	家庭福祉支援事業	○	○	○		15,590,467	15,555,749	4.0			1.0	3,918
2	児童福祉システム運用事業	—	—	—		124,850	123,450	0.2				
3	交通遺児等基金積立金	○	—	○		11,400	10,000	0.2				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						15,726,717	15,689,199	4.4			1.0	3,918

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 家庭福祉支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

児童手当等の支給や医療費助成により保護者の経済的負担を軽減し、子どもを心身ともに健康に育てることを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49		一般会計	法定受託事務、自治事務(その他)	児童手当法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	II-1(3)ウ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	95						

(4) 関連するSDGsのゴール

①貧困		③保健							
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> 医療費の助成により、貧困層の経済的負担を軽減するとともに、精神保健及び福祉の向上を図る。 児童手当の支給により子育て世代の経済的負担を軽減する。 								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	15,906,623	16,801,790	15,555,749			
	決算	15,709,848	16,262,948				
	国・県支出	11,133,140	11,972,780	10,833,180			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,576,708	4,290,168	4,722,569			
人工	人件費(報酬等)(A)		3,809	3,918			
	人件費(人工分)(B)	47,040	47,040	30,800			
	正規	6.2	6.2	4.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.3	1.3	1.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,756,888	16,313,797	15,590,467			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
乳幼児医療費助成件数(件)		-	目標	729,765	714,858	714,858	714,858	714,858	714,858
			実績	710,105	526,376				
小・中学生医療費助成件数(件)		-	目標	708,020	694,448	694,448	694,448	694,448	694,448
			実績	698,311	573,086				
高校生世代医療費助成の実施		95	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
			実績	実施	実施				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 01 政策 02 予算費目 03 所属コード 001103000 事業 01 (担当課) 子育て支援課 (責任者) 小山 東男 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・乳幼児医療費助成事業
0歳から就学前までの児童の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円)
- ・小・中学生医療費助成事業、高校生世代医療費助成事業
市内の小・中学生、高校生世代の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療、夜間救急、休日当番医の日を含む休診日診療は助成対象外)
- ・児童手当支給事業
中学校修了前の児童を養育する者に対し児童手当を支給
支給月額 3歳未満 一律1万5千円 3歳~小学校修了前 第1子、第2子:1万円 第3子以降:1万5千円
中学生 一律1万円 所得制限以上 一律5千円(特例給付)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

【乳幼児医療費助成事業】<令和2年度>助成件数526,376件

未就学児の入院・通院医療費(保険診療に係る医療費の自己負担分)について助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見、早期治療による重篤化の防止及び慢性化予防など乳幼児の健康に寄与した。

【小・中学生医療費助成事業、高校生世代医療費助成事業】

小・中学生、高校生世代の入院・通院医療費(保険診療に係る医療費の自己負担分)について助成することで、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見、早期治療による重篤化の防止及び慢性化予防など小・中学生、高校生世代の健康に寄与した。

<令和2年度>小中学生 助成件数573,086件、高校生世代 助成件数160,705件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

【臨時】新型コロナ対策として子育て世帯への臨時特別給付金を支給。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

【児童手当支給事業】新型コロナ対策として、区の窓口への来客者数減少のため現況届の封筒に電子申請を勧奨する文書を追加した。また、現況届封筒に公告を導入し、発送経費を抑えることができた。

【臨時】新型コロナ対策として子育て世帯への臨時特別給付金を支給。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

【乳幼児医療費助成・小・中学生、高校生世代医療費助成事業】

高額療養費の調整事務の負担軽減のため、引き続き、併用レセプトの導入についても検討していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.95】高校生世代医療費助成事業

市内の18歳到達の年度末までの入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成
(入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療、夜間救急、休日当番医の日を含む休診日の診療は助成対象外)

・子ども医療費助成事業

0歳から中学3年生までの児童の入院及び通院における保険診療に係る自己負担分の一部を助成

[乳幼児]入院:1日500円、通院:1回500円 [小・中学生]入院:1日500円、通院:1回500円*時間外診療

夜間救急、休日当番医の日を含む休診日の診療は助成対象外

・児童手当支給事業

中学校修了前の児童を養育する者に対し児童手当を支給

支給月額 3歳未満 一律1万5千円 3歳~小学校修了前 第1子、第2子:1万円 第3子以降:1万5千円

中学生 一律1万円 所得制限以上 一律5千円(特例給付)

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	02	01	02	03	001103000	02	子育て支援課	小山 東男	R3.7.1

事業シート (事業名) 02 児童福祉システム運用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

平成29年2月末に運用開始した児童福祉システムの運用保守及び機器等の賃貸借を行い、円滑な児童福祉システムの運用を達成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H27	R3	一般会計	自治事務(その他)	番号法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

① 貧困									
事業とゴールの関連性	番号法に基づくシステム連携等により、最低限の基準を含む適切な社会保障制度及び対策を提供する								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	62,108	65,987	123,450			
	決算	61,995	65,546				
	国・県支出	3,556	4,422				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	58,439	61,124	123,450			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		3,500	4,200	1,400			
人工	正規	0.5	0.6	0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		65,495	69,746	124,850			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 01 政策 02 予算費目 03 所属コード 001103000 事業 02 (担当課) 子育て支援課 (責任者) 小山 東男 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

児童福祉システム運用保守及び機器等の賃貸借



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り進捗中。

番号制度対応、ホストシステム廃止によるシステム再構築および改修が完了し、稼働中。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・番号法に基づく他市町村等との情報連携を継続中

・令和4年度のシステムのクラウド化に向けたソフトウェアの賃貸借について債務負担行為を11月補正予算で設定した。

・ひとり親家庭臨時特例給付金に関するシステム改修を実施した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・児童福祉システムクラウド化移行業務(令和4年1月本稼働)

・国が示す番号法に係るデータ標準レイアウト変更対応業務



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・児童福祉システム運用保守及び機器等の賃貸借

・システムクラウド化対応

事業シート (事業名) 03 交通遺児等基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

交通遺児等の福祉の向上を願って寄せられる篤志家からの寄付金を活用し、交通遺児等の福祉の向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
.		一般会計	自治事務(その他)	浜松市交通遺児等福祉事業基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	II-1(3)ウ						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

① 貧困									
事業とゴールの関連性	あらゆる次元の貧困状態にあるすべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	10,000	10,000	10,000			
	決算	2,025	1,621				
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,025	1,621	10,000			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,400			
人工	正規			0.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,025	1,621	11,400			

3 事業の指標の状況 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合(%)	II-1(3) ウ	-	目標	50	50	51	52	53	54
			実績	49.8	47.0				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 02 基本政策 01 政策 02 予算費目 03 所属コード 001103000 事業 03 (担当課) 子育て支援課 (責任者) 小山 東男 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

篤志家からの寄付金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ積み立てる。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

交通遺児に対する寄付金を、交通遺児等福祉事業基金へ積み立てた。
積み立てた基金の運用収入を財源にして、交通遺児等福祉手当支給事業を実施し、交通遺児等を支援した。
令和元年度から、基金の運用収入を市民の交通安全に資する事業に充当した。

<令和2年度>

寄附額(積立) 1,620,660円(寄附件数: 11件)

充当額(取崩) 1,946,000円

年度末基金残高 300,606,905円



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

篤志家からの寄付金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ積み立てた。
令和元年度から、基金の運用収入を市民の交通安全に資する事業に充当した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

寄附をいただいた篤志家の厚意を尊重し、継続する。
交通遺児等福祉手当は基金の取崩により、継続する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

交通遺児に対する寄付金を、交通遺児等福祉事業基金へ積み立てる。
積み立てた基金の運用収入を財源にして、交通遺児等福祉手当支給事業を実施し、交通遺児等を支援する。